

音楽（小学校）

○ 学習指導要領の趣旨を踏まえた授業づくり

各学年の内容の「A 表現」の（１）、（２）及び（３）の指導については、ア、イ及びウの各事項を、「B 鑑賞」の（１）の指導については、ア及びイの各事項を適切に関連させて指導すること。

各学年の内容の〔共通事項〕は表現及び鑑賞の学習において共通に必要な資質、能力であり、「A 表現」及び「B 鑑賞」の指導と併せて、十分な指導が行われるよう工夫すること。

「個を活かす協働的な学び」の実現 「個に応じたきめ細かな指導」の充実

「授業づくりの三訓」を生かして（例）

しかけて待って	語らせつないで	認め励ます
<p>■思考・判断のよりどころとなる主な音楽を形づくっている要素を適切に選択、設定する。</p> <p>◇手立ての例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・育成したい資質・能力を明確にし、要となる音楽を形づくっている要素を明確に設定する。 ・「音楽的な見方・考え方」を働かせた（音や音楽を知覚・感受する）場面を適切に設定する。 	<p>■音や音楽及び言葉によるコミュニケーションを図り気付いたり、感じたりしたことを表現に生かす。</p> <p>◇手立ての例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音での対話の場の設定 ・繰り返し聞き、考え、話し合い、気付かせる。 ・音楽を形づくっている要素と関連させて、特質やよさに気付かせ、表現につなげる。 	<p>■児童の学びの姿を見取る過程を大事にする。</p> <p>◇手立ての例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・反応、つぶやき、体の動きなどから「よさ」を全体に共有する。 ・子ども同士の学びの場の設定（教え合い、学び合い）

「音楽的な見方・考え方」とは

音や音楽のよさや美しさなどの質的な世界を価値あるものとして感じ取るときの心の働き

音楽がどのように形づくられているか、音楽をどのように感じ取るかを明らかにしていく
〔共通事項〕と関わらせて

「音楽に対する感性を働かせ、音や音楽を、音楽を形づくっている要素とその働きの視点で捉え、自己のイメージや感情、生活や文化などと関連付けること

人間にとって意味あるもの

音楽表現を創意工夫したり音楽を解釈したりするなどの学習は一層深まっていく



ICTの活用について

- 音楽を音声と画像との両方で確認することなどが可能であり、聴覚だけでなく視覚などを働かせながら、音楽表現を工夫したり、音楽を聴き深めたりしていくことができる。
- 自分たちの演奏を録音や録画で残すなど学習履歴を蓄積することができ、学習の振り返りや成果の確認に生かすことができる。

《活用例》

- ・ICT端末で範奏を聴きながら各パートを演奏したり、自分たちの演奏を録音・録画するなどしながら表現の仕方を工夫したりする。 【表現】
- ・ICT端末で自分が気になったところを何度でも繰り返し聴いたり、クラウドを活用して感じたことなどについて友達と交流したりすることで、より深く音楽のよさを感じ取ることにつながるようにする。 【鑑賞】